

市役所庁舎の建て替え場所の選定 決定までいよいよ大詰めの段階に

最終局面を迎えている松戸市庁舎の建て替え地選定問題ですが、いよいよ方向性が決定する見通しです。

昨年12月議会で建設地が決まるのではないかと考えられていましたが、大方の予想を裏切り、R5年内に決定することができませんでした。しかし、耐震性に問題がある現市庁舎を、いつまでもそのまましておくわけにはいきません。R6年に先送りとなりましたが、早期の建設地決定が望まれる状況に変わりはないのです。

建て替え候補地は①現地での建て替え、②相模台（松戸駅東口、新法務局となり）への移転、のいずれかというところまで絞られています。市は、本年5月に臨時議会を開き、相模台に市庁舎を移転するための土地取得議案を議会に提出しましたが、議会はこれを否決。財務省が所管する国有地約8,500㎡を買い取り、同所に延べ床面積37,000㎡の新庁舎を建設するという構想は一旦棚上げとなりました。その上で、市がどのような改善策を提示するに焦点が絞られています。



1月31日に新庁舎建設について 議会内の特別委員会が開催予定！

令和6年に入った元日に、能登半島を中心として大規模な大型地震が発生しました。松戸市役所の庁舎は耐震性が低く、もしも2011年3月11日に起きた東日本大震災のときと同じ規模の揺れが松戸市を襲った場合、市庁舎の本館と新館は倒壊する恐れがあるとの専門家の耐震審査結果もあります。ですので、能登半島地震は、いつまでも市庁舎計画決定を先送りしてはいけなくと警鐘を鳴らしているようにも思えます。

そのような状況にあって、市議会が設置している、市庁舎移転を議論する特別委員会が、1月31日に開催されることが決まりました。ここで市からどのような計画案が示されるかによって、新庁舎建設は大きく前進する可能性があるのです。

市はこれまで、決して誠実とは言えない対応を、新庁舎建設について繰り返してきました。市民と職員の安全のためにも、完成度の高い庁舎建設計画を上程することを望みます。



みのわ 信矢 プロフィール

- 昭和42年 松戸市常盤平生まれ
- 昭和55年 松戸市立常盤平第一小学校 卒業
- 昭和58年 青山学院 中等部 卒業
- 昭和61年 青山学院 高等部 卒業
- 最終学歴 青山学院大学 経営学部 卒業

市議会議員としての主な経歴

- 松戸市予算審査特別委員会副委員長
- 松戸市決算審査特別委員会副委員長
- 松戸市立病院建設検討特別委員
- 教育経済常任委員長
- 都市整備常任委員長

その他の経歴

- ◇中央学院大学 法学部講師（地方自治論）
- ◇介護事業所 取締役
- ◇NPO法人地域政策研究所 理事
- ◇公益社団法人 松戸青年会議所 常任理事
- ◇松戸市子ども会常盤平地区 会長 など

趣味

- ◆楽器演奏（エレキギター）、読書、映画鑑賞
- ◆学生時代はバスケットボール部

HPもご覧ください！ **みのわ信矢** **検索**

連絡先 松戸市金ヶ作418-94